

地域産業振興における行政の役割

宇都宮市 産業政策課
産業イノベーショングループ

1 宇都宮市の概要

栃木県のほぼ中央，東京から北に約100kmに位置



1 宇都宮市の概要（最近のトピック）

日本初
(全線新設)

LRT 車両 ライトライン 図鑑

愛称「ライトライン」の意味・由来

「ライトライン」は、トータルデザインコンセプトから「雷都」を取り、「道筋」や「つながり」を表す「ライン」と組み合わせた愛称です。「(未来への) 光の道筋」といったメッセージも込められています。

パンタグラフ

- ・架線から電力を取り入れるための装置
- ・電気モーターで駆動するため環境に優しい

架線

- ・動力源になる電気が流れている

運転席

- ・ワンマン運転を予定
- ・運転最高速度は
時速40km

ノーズ

- ・地域の個性である「雷」を表現する
黄色が映える流線形の車両形状

レール

- ・軌道と呼ばれる
レールの上を走る

乗降口

- ・全ての扉で交通ICカードでの支払いが可能

窓

- ・外の景色を楽しめるよう
大きな窓を採用

貫通幌

- ・連結した車両の間を覆う部分で
乗客の転落防止と風雨を防ぐ
ために設置

専用空間を
走行するため

時間に正確!

車両は騒音や
振動が少なく

快適な乗り心地!

運賃

150円～
400円

運転時間帯

6時台～
23時台

運行間隔(1時間あたり)

ピーク時 | オフピーク時
6分間隔 | 10分間隔

洗練された
デザインは

まちのシンボルに!

乗り換え施設等の
整備で他の交通機関と

スムーズに連携!

1 宇都宮市の概要（最近のトピック）

日本初

市内で発電した
再生可能エネルギー
100%運行

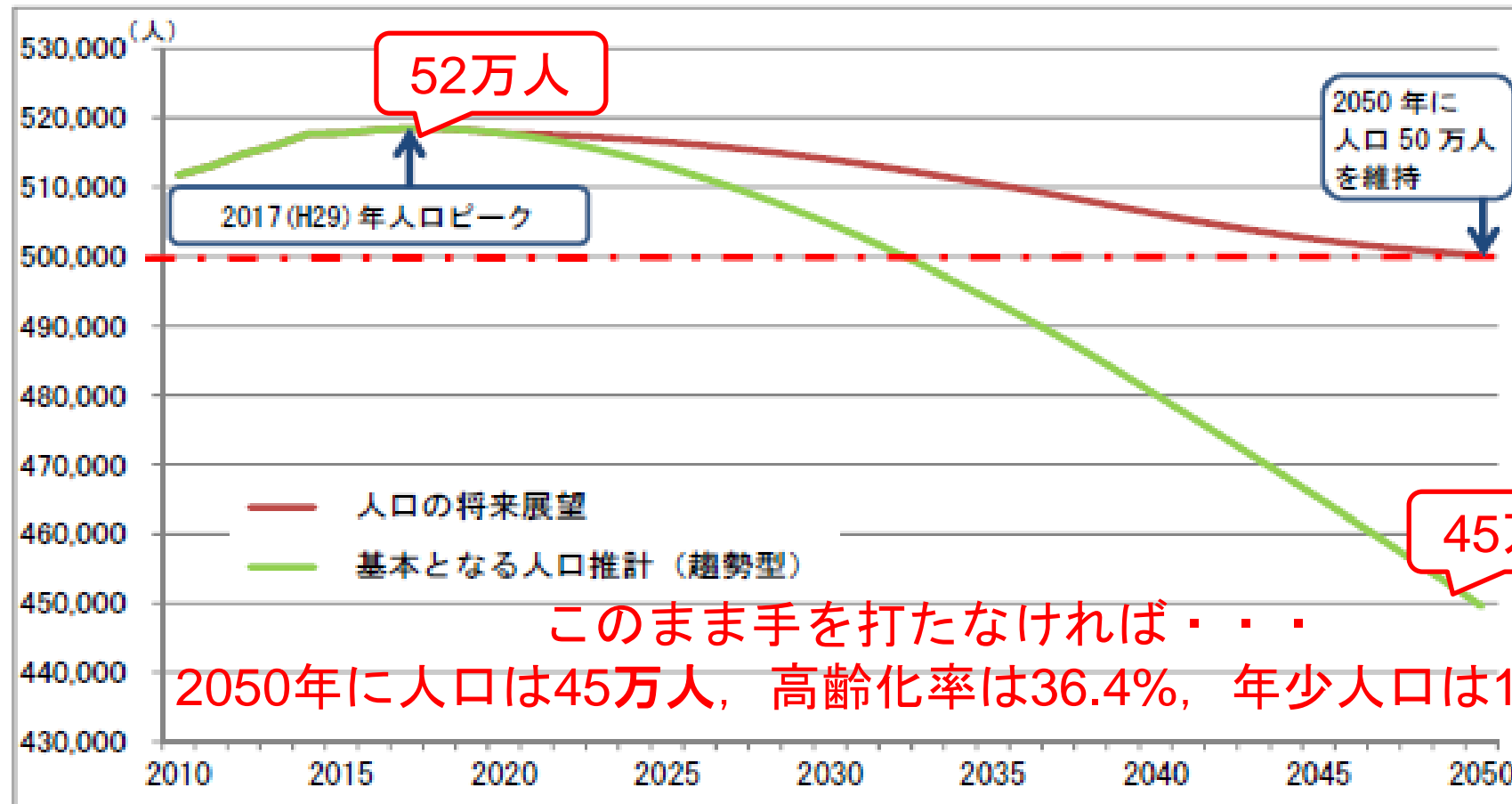
このルートを通ります。



1. 宇都宮市の概要（人口）

- 人口518,757人 ※ 令和2年度国勢調査結果
- 人口減少, 人口オーナス期に突入

「人口の将来展望」



1. 宇都宮市の概要（経済状況）

- 生産活動に注目すると内陸型都市としては最大規模を誇り、本市の経済状況は中核市の中でも上位を占めている。
- また、商・工・農の各産業のバランスがとれている。 ※ 中核市62市との比較

付加価値額 **1兆3,320億円**
(中核市平均 7,396億円)

出典：平成28年経済センサス

⇒中核市 **第2位**

年間商品販売額 **2兆6,144億円**
(中核市平均 1兆1,855億円)

出典：平成28年経済センサス

⇒中核市 **第3位**

農業産出額 **177億円**

出典：令和2年農林業センサスを基に試算（本市農業企画課）

⇒中核市 **第11位**

製造品出荷額 **2兆1,882億円**
(中核市平均 9,628億円)

出典：令和2年工業統計調査

⇒中核市 **第6位**



1. 宇都宮市の概要（産業立地）

・市内7つの産業団地を中心に，多くの企業が集積

工業団地名称	総面積(m ²)	立地件数
白沢工業団地	50,831	29
河内工業団地	343,607	19
宇都宮工業団地	3,041,000	121
宇都宮テクノポリスセンター	1,772,000	18
宇都宮清原工業団地	3,876,292	36
瑞穂野工業団地	301,920	85
インターパーク宇都宮南	1,374,568	63

出典：令和2年版栃木県産業団地立地企業一覧



・現在，新たな工業団地の開発に向け調査中

本ページの内容は
配布・掲載資料からは除いて
おります。
セミナー会場のスクリーン等
でご確認ください。

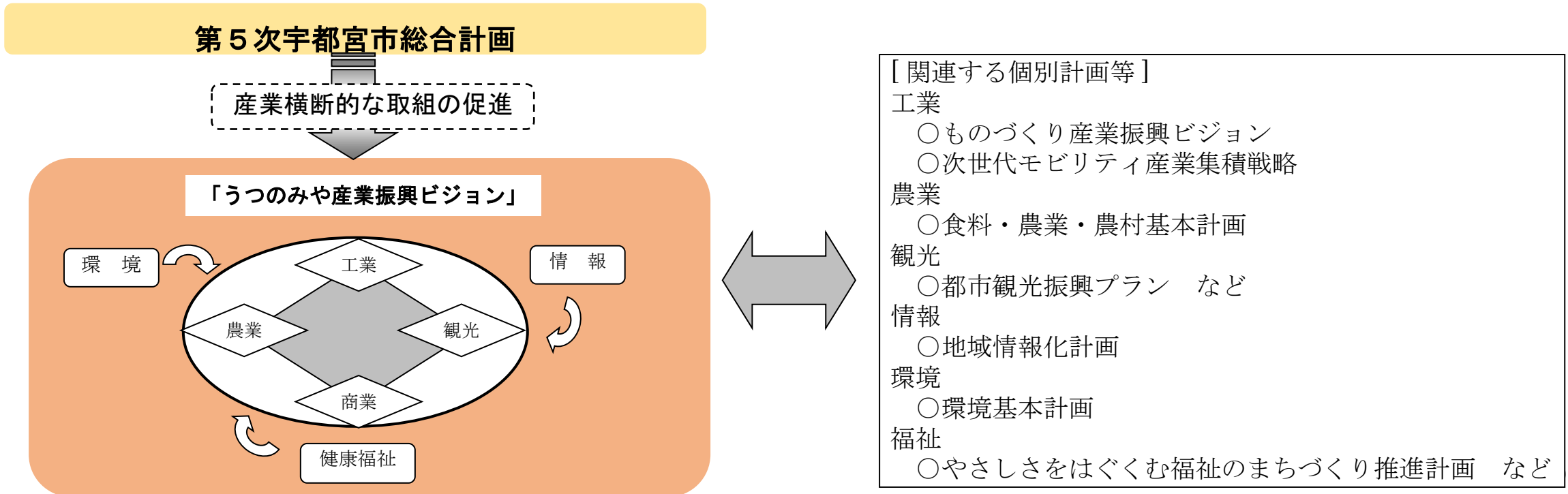
2 うつのみや産業振興ビジョンについて

★ 平成24年3月 「うつのみや産業振興ビジョン」の策定

○ うつのみや産業振興ビジョンとは

- ・ 当時の「第5次宇都宮市総合計画基本計画」の政策の柱である、「市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために」の実現に向け、産業分野の横断的な取組を促進するためのビジョン
- ・ 本市の産業を新たなステージに飛躍させ今後10年間の産業振興を戦略的に推進する上での方向性を示す計画

<当時のイメージ>



2 うつのみや産業振興ビジョンについて

策定の背景・目的（平成24年当時）

- ◆ 国内外の経済状況
 - ・ 国外では，EUを中心とした金融不安，T P Pや円高問題，新興国の台頭
 - ・ 国内では，人口減少社会の進展や，それに伴う消費需要の縮小
東日本大震災の影響による被災企業のサプライチェーンの立て直し，エネルギー政策の転換など社会状況が変化
 - 今後，本市産業に与える影響も大きくなる懸念
- ◆ 国の施策動向
国際的な産業構造変化や新たな産業需要への対応のほか，**地域資源の活用などを重要視**

目的・必要性

- ・ 社会経済状況の変化に適切に対応し，本市産業の持続的発展と強化を図るためには，**戦略的に施策を進める必要**
- ・ そのため，**第一次産業から第三次産業までの産業全般にわたる戦略的な中長期的ビジョンを策定**
 - 「農・商・工・観の各産業の基盤強化」，「高い成長力と先端性を有する産業の振興」

【当初の計画期間】 平成24年（2012年）度から平成33年（2021年）度までの10年

2 うつのみや産業振興ビジョンについて

うつのみや産業振興ビジョンの改定と経過

★ 平成30年3月に うつのみや産業振興ビジョンの改定（当初計画の5年目で改定）

○ 改定の背景と目的

- ・ 「第4次産業革命」とも呼ばれるビッグデータの活用やA Iの技術進化などにより、生産・消費など経済活動が変化し、本市産業を取り巻く環境も大きく変化
- ・ 本市では、平成30年をピークに人口減少に転じる予想
- ・ 今後のLRTの開通を契機とした新たなまちづくりの進展が見込まれる
- ・ これらの変化に適切に対応するため、当初ビジョンの中間評価を行い、今後の産業振興の方向性を示すビジョンに改定

【計画期間】 平成30年度から令和9年度までの10年

★ 令和5年3月 うつのみや産業振興ビジョンの中間見直し

- ・ 現行のビジョンの後期版（令和5年度～令和9年度）として、前期の中間評価を行い、見直しを行う

※ **前期からの社会・経済状況の変化**

新型コロナウイルス感染症 ， 世界情勢の不安定化

カーボンニュートラルの推進，DX化，リモートやジョブ型雇用など雇用環境の変化

2 うつのみや産業振興ビジョンについて

社会経済環境の変化や本市の産業特徴などを踏まえ、本市産業振興上の課題を導出

●本市産業の強み（抜粋）

- ・市内総生産は増加傾向にあり、県内の約3分の1を占め、本県経済をけん引
- ・**製造品出荷額等は**、中核市で6位と**全国的にも高水準**にあり、**工業団地には大手企業のマザー工場などが立地**
- ・商業では、県内卸売業販売額の約6割、県内小売業販売額の約3割を占め、**県内商業の中核を担う**
- ・**創業数は**、支援体制の充実が進み**増加傾向** など

●本市産業の弱み

- ・域際収支は、市外との取引は黒字であるが、市外から多くの資金を**稼ぐ産業（飲食料品※中でも特に、飲食料・たばこ）**に偏りがある
- ・製造品出荷額等の約8割を超える**宇都宮工業団地、清原工業団地の立地企業（特に誘致企業等）への依存度が高い**
- ・商業・サービス業では、労働生産性を見ると、情報通信業を除き、全国平均を大きく上回る産業がない
- ・**事業所数、従業者数が減少** など

産業振興上の課題

- 1 新技術や新製品開発，新事業の創出への対応
- 2 強固な産業構造を創る企業の立地と定着への対応
- 3 中小・小規模企業，農業者の経営基盤の強化への対応
- 4 特色ある地域資源の有効活用への対応
- 5 多様な人材の確保と育成への対応

2 うつのみや産業振興ビジョンについて

本市の目指す都市像の実現に向けて、産業振興上の課題を踏まえ、分野横断的に取り組む重点施策として、「5つの施策の柱」を設定

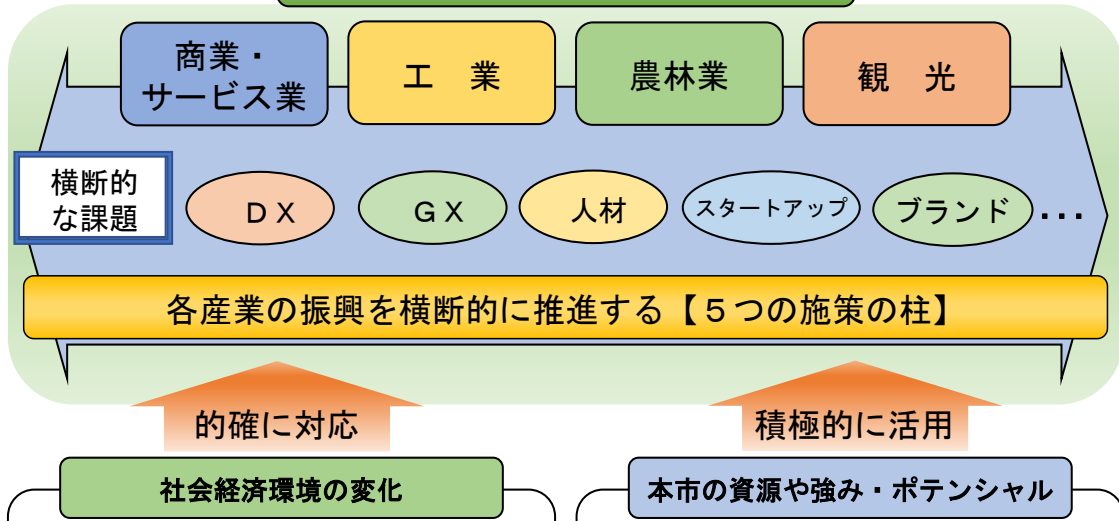
本市の目指す都市像

《経済・産業未来都市》
を実現

「創造力」、「耐久力」、「循環力」、
「稼ぐ力」を高め

本市の強み・ポテン
シャルを活かして

【宇都宮市の経済・産業】



重点施策「5つの施策の柱」

- 1 本市産業を発展させる新事業、成長産業の振興
- 2 産業集積を高める企業の立地・定着の促進
- 3 本市産業を支える中小・小規模企業、地場産業等の振興
- 4 地域資源を最大限に活かす産業の総合力の向上
- 5 産業活動の源となる人材の確保と育成

2 うつのみや産業振興ビジョンについて

～重点施策「5つの施策の柱」～

1. 本市産業を発展させる新事業，成長産業の振興

方向性

- 「**重点振興産業**」を始めとして本市の様々な企業や**スタートアップ**が，新技術・新製品の開発や成長が見込める新分野への進出し，**本市をけん引する企業へと成長・飛躍**していくことを促進
- **宇都宮市リーディング企業※等**を中心に，地域内のネットワーク構築を一層促進
- 本市の東京オフィスを活用した新たな出会いを促進することで，**企業間取引やオープンイノベーション等の活性化**によるコネクターハブ企業の創出と産業集積の多軸化を図る
- スタートアップを始めとした**新たな企業や地場企業による第二創業が絶え間なく創出**されるよう，起業・創業を積極的に促進

※ 宇都宮市リーディング企業とは，宇都宮市内に本社を置き，売上や雇用において，一定の規模を有し，企業間取引などで地域経済に貢献度が高い企業（認定事業）

重点振興産業について

- 製造品出荷額等や従業者数等の特化係数の推移
- 国や本市の政策動向などを踏まえて導出
- - モビリティ産業
 - 自動車関連産業
 - 航空宇宙関連産業
 - L R T 関連産業
 - 情報通信産業
 - ロボット産業
 - 健康福祉
 - 脱炭素社会の推進に資する産業
 - 半導体
 - 蓄電池
 - 再生可能エネルギー 等

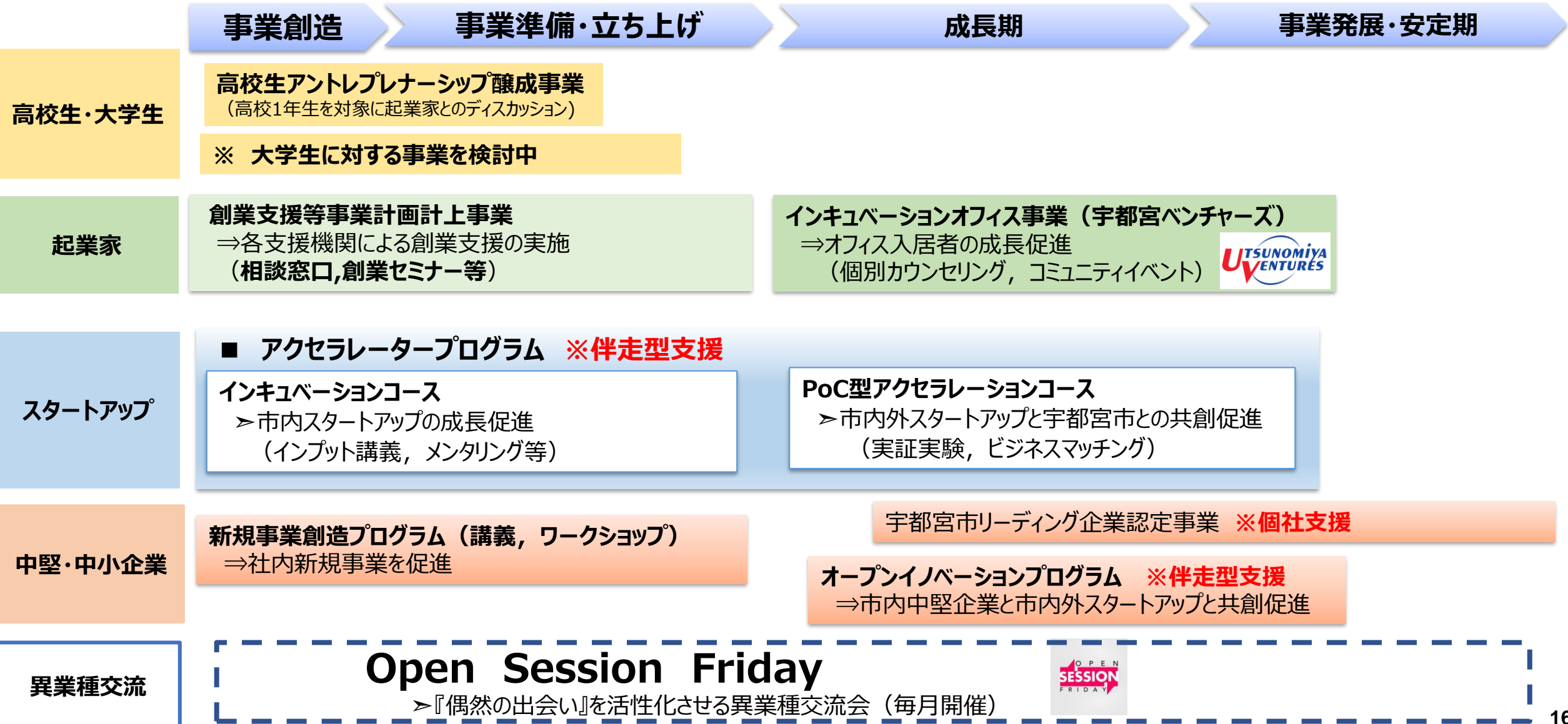
3 新事業・新産業創出に向けた施策

「うつのみや産業振興ビジョン」に基づく施策の考え方と対応

- ・ 新規事業への意欲の高い市内企業や成長志向の高いスタートアップを幅広く発掘し，成長を促進
- ・ 事業創造から成長，発展まで成長段階に応じた切れ目ない支援
- ・ 新規事業，スタートアップを絶え間なく創出できるよう，地域一体となった支援環境の整備

3 新事業・新産業創出に向けた施策

■ 施策の体系図 …… 新規事業の創出, 成長産業の振興に向けて事業の成長段階に応じた支援を実施



3 新事業・新産業創出に向けた施策

アクセラレータープログラム

- ✓ 成長意欲が高く、社会課題の解決を目指しながら事業を拡大させる「**スタートアップ企業**」や新事業を立ち上げる「**第二創業**」に取り組む事業者等に対して、**集中的な支援を行うことで成長を加速**
- ✓ 宇都宮市では、**約5か月間にわたり、メンタリングや実証事業のサポートなどの伴走支援**

➤ **スタートアップ企業の発掘・成長、市外スタートアップ企業の誘致により、経済活性化、雇用創出を図る**

【応募条件】市内事業者：市内に事業所を有し、創業後数年程度（第二創業を含む）の事業者

市外事業者：市内に事業拠点を設置予定又は市内事業者と協業した新事業の立ち上げを予定の事業者

スタートアップ企業にとっての”パーソナルトレーニング”



企業の状況に応じて、オーダーメイドの支援を提供

メンタリング

実証実験

投資家の
紹介

メディア露出

ビジネス
マッチング

支援チーム・
企業のノウハウ

短期間で飛躍的な事業成長を実現する

企業の成長曲線のイメージ

アクセラに
参加

自社だけで
事業を推進

3 新事業・新産業創出に向けた施策

アクセラレータープログラム

うつのみや産業振興ビジョンに掲げる重点振興産業や宇都宮市の特徴を踏まえ、令和5年度は以下の5分野で参加スタートアップを募集。応募者41件のうち、9社のスタートアップを採択

スポーツ/健康分野

観光/エンターテインメント分野

食/農業分野

モビリティ/宇宙分野

環境/脱炭素分野



市内プロスポーツ チームの課題解決

観光分野の課題解決

農業分野の課題解決

交通分野の課題解決

環境分野の課題解決

#選手育成
#スタジアム運営
#ファンマーケティング等

#インバウンド対策
#プロモーション #誘客
#ファンサービス等

#労働力不足 #品質管理 #生産性向上
#ブランド化
#スマート農業等

#公共交通機関利用向上
#シェアリングエコミー
#MaaS #自動運転等

#クライメートテック
#温室効果ガス排出削減
#アップサイクル等

市民の健康増進

新たな顧客の創出・ 新たな体験の提供

新たな食体験

大学/企業との協業して の宇宙分野の産業創出

脱炭素社会の実現

#健康管理 #体力向上
#ヘルスケアサービス
#健康な体づくり等

#VR #AR #MR
#メタバース #NFT #Web3
#イベントプラットフォーム等

#フードシェアリング
#食品ロス削減 #食材宅配 #プラントベース食品等

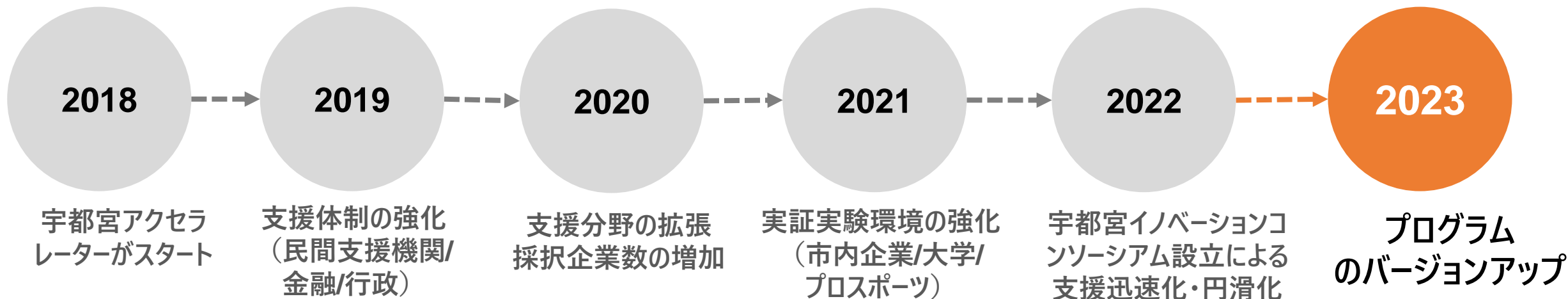
#衛星通信 #衛星データ
#小型人工衛星 #デブリ
#宇宙エンタメ等

#炭素オフセットサービス
#再生可能エネルギー
#バイオマスエネルギー等

3 新事業・新産業創出に向けた施策

アクセラレータープログラム

2018年からプログラムを開始し、今年度は6期目。年々、試行錯誤しながらバージョンアップ



2023のPoint

インキュベーションコースとPoC型アクセラレーションコースの2コース体制で、**事業フェーズに応じた支援を提供**

■ これまでの採択者数

年度	採択者数(内:市内・市外)	応募件数(内:市内・市外)
平成30年度	5者(市内3・市外2)	25件 (市内17・市外 8)
令和元年度	6者(市内3・市外3)	19件 (市内10・市外 9)
令和2年度	9者(市内2・市外7)	44件 (市内10・市外34)
令和3年度	10者(市内5・市外5)	45件 (市内12・市外33)
令和4年度	9者(市内2・市外7)	45件 (市内 8・市外37)
令和5年度	9者(市内5・市外4)	41件 (市内17・市外24)
合計	48者(市内20・市外28)	219件 (市内74・市外145)

■ 主な効果

- 市内採択企業においては、20名以上の雇用を創出
- 宇宙関連スタートアップが国の約40億円の大規模補助に採択されるなど、成長に寄与
- 市外からスタートアップ3社が拠点を設置

3 新事業・新産業創出に向けた施策

アクセラレータープログラム

プログラムの実施主体は、産・学・官・金連携の任意団体「宇都宮イノベーションコンソーシアム」が担い、その構成メンバーを中心に支援チームを組成し、地域一体となってスタートアップを支援する仕組みを構築



Logos of partner organizations include: Tochigi Youth Supporters Network, JETRO (ジェトロ栃木), NBC TOCHIGI, 宇都宮イノベーションコンソーシアム (Utsunomiya Innovation Consortium), 宇都宮短期大学 (Utsunomiya Short-term University), 宇都宮大学 (Utsunomiya University), SAKUSHIN GAKUIN UNIVERSITY, 文星芸術大学 (Bunsei University of Art), 宇都宮共和大学 (Utsunomiya Kyohwa University), 帝京大学 (Teikyo University), 栃木銀行 (Tochigi Bank), JFC (Japan Finance Corporation), 足利銀行 (Asahi Bank), 栃木信用金庫 (Tochigi Credit Union), SMBC (Sumitomo Mitsui Banking Corporation), 三井住友銀行 (Mitsubishi Sumitomo Bank), 宇都宮市 (Utsunomiya City), and 栃木県 (Tochigi Prefecture).

3 新事業・新産業創出に向けた施策

オープンイノベーションプログラム

事業創造

事業準備・立ち上げ

成長期

事業発展・安定期

高校生・大学生

高校生アントレプレナーシップ醸成事業
(高校1年生を対象に起業家とのディスカッション)

※ 大学生に対する事業を検討中

起業家

創業支援等事業計画計上事業
⇒各支援機関による創業支援の実施
(相談窓口, 創業セミナー等)

インキュベーションオフィス事業 (宇都宮ベンチャーズ)
⇒オフィス入居者の成長促進
(個別カウンセリング, コミュニティイベント)



スタートアップ

■ アクセラレータープログラム ※伴走型支援

インキュベーションコース
➢市内スタートアップの成長促進
(インプット講義, メンタリング等)

PoC型アクセラレーションコース
➢市内外スタートアップと宇都宮市との共創促進
(実証実験, ビジネスマッチング)

中堅・中小企業

新規事業創造プログラム (講義, ワークショップ)
⇒社内新規事業を促進

宇都宮市リーディング企業認定事業 ※個社支援

オープンイノベーションプログラム ※伴走型支援
⇒市内中堅企業と市内外スタートアップと共創促進

異業種交流

Open Session Friday

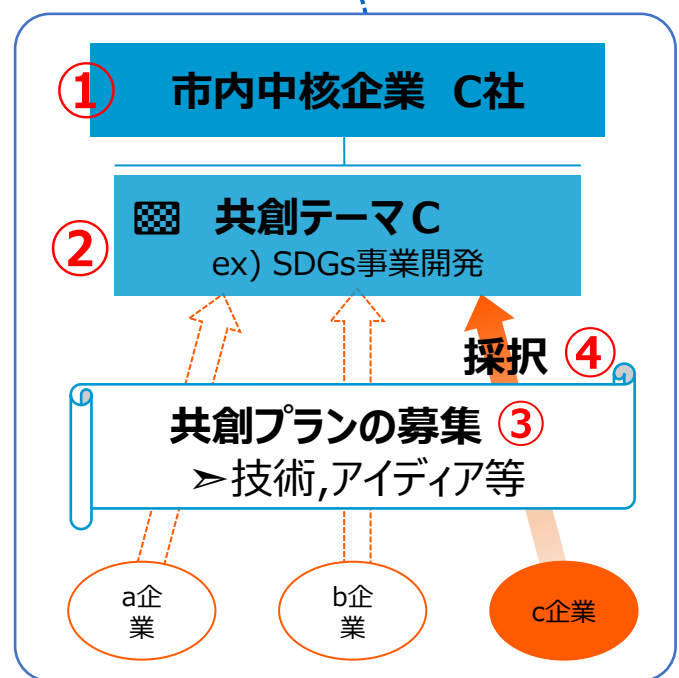
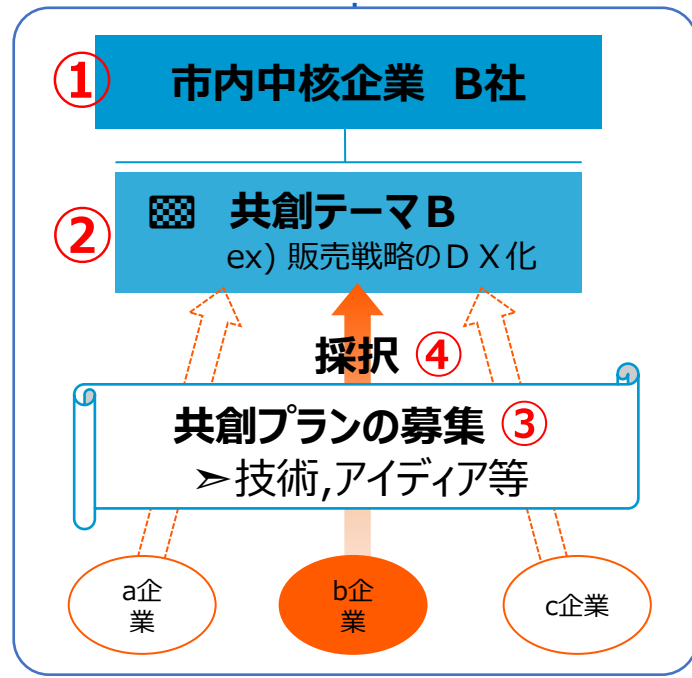
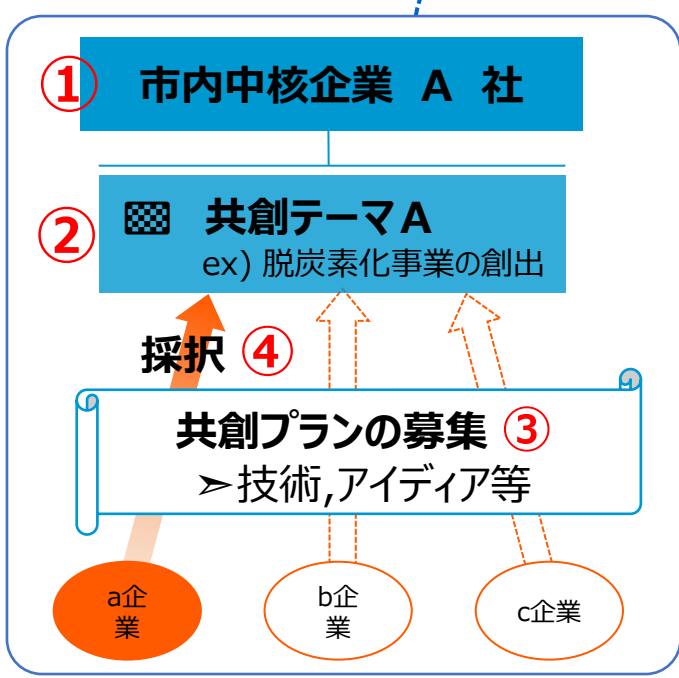
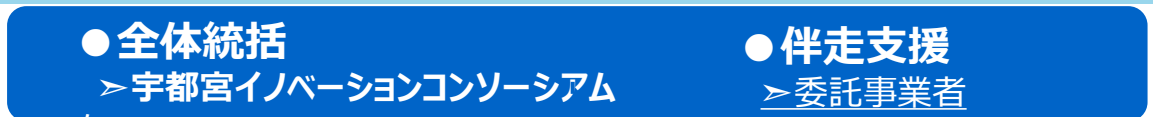
➢『偶然の出会い』を活性化させる異業種交流会 (毎月開催)



3 新事業・新産業創出に向けた施策

オープンイノベーションプログラム ※令和5年度～

- ✓ 市内中小・中堅企業の新事業開発に向けた、スタートアップ等との協業を伴走支援するプログラム
- ✓ 宇都宮市リーディング企業など中心に市内中核企業を公募により選定（共創パートナー）し、スタートアップとの協業により、実現したい新規事業などテーマを設定し、市内外のスタートアップ企業から協業案を募集
- ✓ 提案されたプランの中から優れた案件 1社程度採択し、共創プロジェクトの事業化を支援。 伴走支援期間中は、ビジネス戦略の策定から検証・実証までの一貫したサポート



令和5年度は、市内中核企業1社選定し、スタートアップとの協業に向けた支援を実施

3 新事業・新産業創出に向けた施策

宇都宮市リーディング企業認定制度

事業創造

事業準備・立ち上げ

成長期

事業発展・安定期

高校生・大学生

高校生アントレプレナーシップ醸成事業
(高校1年生を対象に起業家とのディスカッション)

※ 大学生に対する事業を検討中

起業家

創業支援等事業計画計上事業
⇒各支援機関による創業支援の実施
(相談窓口, 創業セミナー等)

インキュベーションオフィス事業 (宇都宮ベンチャーズ)
⇒オフィス入居者の成長促進
(個別カウンセリング, コミュニティイベント)



スタートアップ

■ アクセラレータープログラム ※伴走型支援

インキュベーションコース
➢市内スタートアップの成長促進
(インプット講義, メンタリング等)

PoC型アクセラレーションコース
➢市内外スタートアップと宇都宮市との共創促進
(実証実験, ビジネスマッチング)

中堅・中小企業

新規事業創造プログラム (講義, ワークショップ)
⇒社内新規事業を促進

宇都宮市リーディング企業認事業 ※個社支援

オープンイノベーションプログラム ※伴走型支援
⇒市内中堅企業と市内外スタートアップと共創促進

異業種交流

Open Session Friday

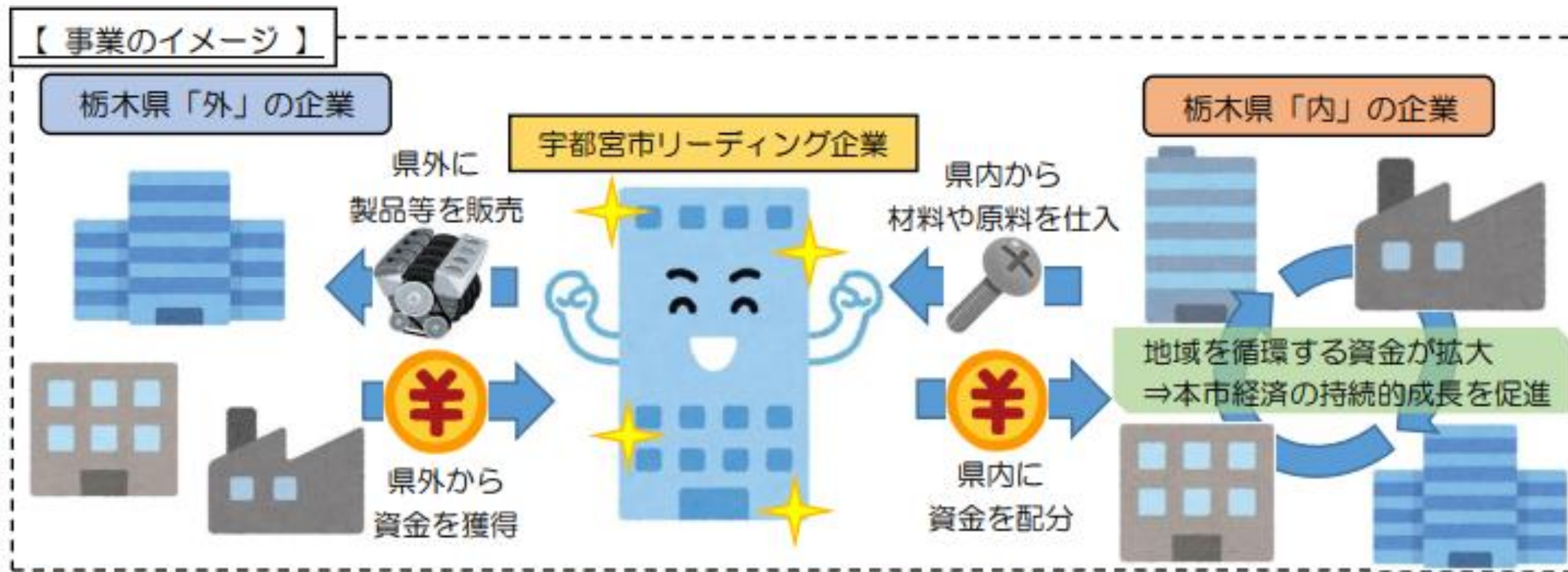
➢『偶然の出会い』を活性化させる異業種交流会 (毎月開催)



3 新事業・新産業創出に向けた施策

宇都宮市リーディング企業認定制度

「地域経済循環社会」の実現に向け、市内に本社を置き、売上や雇用において一定の規模を有し、企業間の取引などにおいて**地域経済に貢献し成長性の高い企業**を「宇都宮市リーディング企業」として認定し、集中的かつ積極的に支援



- ・ 令和元年度から開始し、これまで20社を認定 ※令和6年1月末時点
 - 企業立地，設備投資，販路開拓などに係る補助金の要件緩和や上乘せ補助
 - 市内、東京圏での企業PR支援，オープンイノベーションの促進など

4 地域産業振興における行政の役割

産業振興の目的

- 地域経済の持続的な発展，安定した税収の確保

そのためには，

- 収益や雇用において大きい付加価値を生み出す産業を振興

具体的には（本市の事例） ，

- 新たな技術でスケールアップを図るスタートアップの輩出
- 地域企業の新たな事業展開の支援
- 成長分野の企業誘致 など

企業を取り巻く環境の変化

- DX，GXを始め，社会・経済情勢の急速な変化
- 企業の抱える課題は多種化，複雑化

4 地域産業振興における行政の役割

これからの行政の役割

- これまでの経営を下支えする補助金などの満遍ない支援や、企業誘致に加え、
 - **ターゲットを絞り込み、企業に寄り添う価値創造型の支援**
- 他方で持続的かつ自発的に新事業を創出を促進するには、自治体のリソースだけでは限界
 - **地域のステークホルダーが一体となって企業の新しい挑戦を後押ししていく
仕組・体制の構築**